

JRR-3 設備機器の耐震性に係る再評価の要否について

令和2年7月3日  
日本原子力研究開発機構  
原子力科学研究所

【R2.6.24 ヒアリングコメント】

- ・ 設置時の評価から計算モデル、評価方法等を変更したものについて説明すること。
- ・ 耐震評価が複数の設工認に分かれているため、網羅されているか一覧表を作成すること。

JRR-3 の設備機器について、耐震性再評価の要否をまとめた一覧表を次ページ以降に示す。

H2年 改造時	No.	施設名	旧クラス	新クラス	旧評価方針	新評価方針	新規制基 準設工認	添付 計算書	備考
その3	1	照射筒	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	2	格子板A	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	3	格子板B	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	4	格子板支持胴	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	5	プレナム	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	6	制御棒案内管	As	S	静的解析	動的解析(スペクトルモーダル)	その11	○	最新の知見に基づき評価手法を変更し、新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	7	ベースプレート	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	8	反射体押え	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	9	重水タンク本体	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	10	ビームチューブ	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	11	照射シンプル	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	12	真空容器	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	13	ベリリウム反射体	As	S	静的解析	変更なし	その11	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	14	プールゲート(No.1ゲート)	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その3	15	上部しゃへい体	As	B	静的解析	静的解析を行うが、最新の知見に基づき一部FEM評価を実施	その13	○	Bクラス評価+上位波及影響評価を実施、最新の知見に基づき一部FEM評価に変更
その3	16	下部しゃへい体	As	S	静的解析	変更なし	その13	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その3	17	プールゲート(No.2ゲート)	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	18	1次冷却材主ポンプ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	19	1次冷却材補助ポンプ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	20	1次冷却材熱交換器	A	B	静的解析	変更なし	その13	○	固有値解析の結果、水平方向が20Hzを下回るため、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施(FRS読み取り値)
その4	21	N16減衰タンク	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	22	ディフューザ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	23	1次冷却材ストレーナ	A	B	—	—	その13	—	1次冷却材主配管の評価モデルに含まれる
その4	24	1次冷却材主配管	As、A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その4	25	2次冷却材ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	26	捕集器	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	27	2次冷却系設備主配管	B、C	B、C	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	原子炉建家内配管(Bクラス)に対して、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その4	28	補機冷却ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	29	補機冷却系主配管	B、C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	30	重水ポンプ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	31	重水ドレン汲上ポンプ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	32	重水熱交換器	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	33	重水溢流タンク	A	B	静的解析	変更なし	その13	○	固有値解析の結果、水平方向が20Hzを下回るため、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施(FRS読み取り値)
その4	34	重水ドレンタンク	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	35	重水イオン交換樹脂塔	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	36	重水前置フィルタ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	37	重水後置フィルタ	A	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)、重水精製系配管(主配管からの分岐管(20A)、定ピッチスパン)に設置されている
その4	38	重水冷却系主配管	As、A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その4	39	ヘリウム圧縮機	A	B	静的解析	変更なし	その13	○	固有値解析の結果、水平方向が20Hzを下回るため、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施(FRS読み取り値)
その4	40	吸込タンク	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	41	吐出タンク	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	42	ヘリウムタンク	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	43	再結合器	A	B	—	—	その13	—	ヘリウム系主配管の評価モデルに含まれる

H2年 改造時	No.	施設名	旧クラス	新クラス	旧評価方針	新評価方針	新規制基 準設工認	添付 計算書	備考
その4	44	ドレンセパレータ	A	B	—	—	その13	—	ヘリウム系主配管の評価モデルに含まれる
その4	45	凝縮器	A	B	—	—	その13	—	ヘリウム系主配管の評価モデルに含まれる
その4	46	ヘリウム系主配管	As、A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その4	47	サイフォンブレイク弁接続管	As	S	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その4	48	サイフォンブレイク弁	As	S	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その4	49	自然循環弁接続管	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その4	50	自然循環弁	A	B	—	—	その13	—	自然循環弁接続管の評価モデルに含まれる
その4	51	原子炉プール水浄化ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	52	原子炉プール水イオン交換樹脂塔	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	53	原子炉プール水前置フィルタ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	54	原子炉プール水後置フィルタ	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管に設置されている
その4	55	原子炉プール水浄化冷却系主配管	B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	56	使用済燃料プール水浄化ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	57	使用済燃料プール水熱交換器	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	58	使用済燃料プール水イオン交換樹脂塔	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	59	使用済燃料プール水前置フィルタ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	60	使用済燃料プール水後置フィルタ	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管に設置されている
その4	61	使用済燃料プール水浄化冷却系主配管	B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	62	プール水移送ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	63	軽水ドレン汲上ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	64	軽水供給ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	65	軽水貯留タンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	66	軽水ドレンタンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	67	軽水貯留フィルタ	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管に設置されている
その4	68	軽水貯留系主配管	B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	69	原子炉プール溢流ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その4	70	原子炉プール溢流タンク	B	B	静的解析	変更なし	その13	○	固有値解析の結果、水平方向が20Hzを下回るため、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施(FRS読み取り値)
その4	71	原子炉プール溢流フィルタ	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管に設置されている
その4	72	原子炉プール溢流系主配管	B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	73	起動系	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	74	線形出力系	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	75	対数出力炉周期系	A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その5	76	安全系	A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その5	77	1次冷却材流量	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	78	1次冷却材炉心入口温度	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	79	1次冷却材炉心出口温度	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	80	2次冷却系流量	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	81	2次冷却塔入口温度	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	82	2次冷却塔出口温度	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	83	重水流量	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	84	重水温度	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	85	重水溢流タンク水位	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	86	ヘリウム流量	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	87	重水再結合器温度	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	88	原子炉プール水位(安全保護系)	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	89	原子炉プール水位(計測制御系)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	90	燃料事故モニタ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	91	プロセスモニタ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	92	破損燃料検出装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	93	制御盤	A、B	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	94	原子炉停止回路	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	95	工学的安全施設作動回路	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	96	中性子吸収体	As	S	剛な支持点を持たないため地震力が作用しない	変更なし	その13	×	挿入性に関する説明書を添付する(その11)
その5	97	制御棒駆動装置	As	S	動的解析(スペクトルモーダル)	動的解析(時刻歴応答)	その13	○	最新の知見に基づき評価手法を変更し、新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施

H2年 改造時	No.	施設名	旧クラス	新クラス	旧評価方針	新評価方針	新規制基 準設工認	添付 計算書	備考
その5	98	重水ダンプ弁接続管	As、A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その5	99	重水ダンプ弁	A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その5	100	室内モニタ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	101	トリチウムモニタ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	102	エリア放射線モニタ	B、C	B、C	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	103	排気筒モニタリング設備	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その5	104	非常用排風機	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	105	空気浄化装置	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	106	非常用排気設備ダクト	A	B	静的解析(定ピッチスパン)	動的解析(スペクトルモーダル)	その13	○	最新の知見に基づき評価手法を変更し、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その5	107	非常用電源設備	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その5	108	原子炉制御棟	A	B	基準地震動S <sub>1</sub> を用いた評価	静的解析	その2	○	最新の知見に基づき再評価を実施した結果、改修が必要となった。
その5	109	事務管理棟	C	C	静的解析	変更なし	—	×	最新の知見に基づき再評価を実施した結果、耐震性に問題はないことが確認された。
その6	110	炉室排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	111	実験利用設備排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	112	炉室排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	113	実験利用設備排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	114	オイルダンパ系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	115	炉室排気系主ダクト	B、C	B、C	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	116	実験利用設備排気系主ダクト	B、C	B、C	静的解析	動的解析(スペクトルモーダル)	その13	○	最新の知見に基づき評価手法を変更し、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	117	オイルダンパ系主ダクト	B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	118	オイルダンパ系オイルダンパ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	119	実験室等排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	120	詰替セル排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	121	ホット機械室等排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	122	導管室排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	123	実験室等排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	124	詰替セル排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	125	ホット機械室等排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	126	導管室排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	127	実験室等排気系主ダクト	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	128	詰替セル排気系主ダクト	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	129	ホット機械室等排気系主ダクト	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	130	導管室排気系主ダクト	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	131	排気系共用主ダクト	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	132	燃料管理施設等排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	133	燃料管理施設等排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	134	燃料管理施設等排気系主ダクト	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	135	事務管理棟管理区域排気系排風機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	136	事務管理棟管理区域排気系空気浄化装置	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	137	事務管理棟管理区域排気系主ダクト	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	138	廃液貯槽	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	139	廃液貯槽主配管	B,C	B,C	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	140	廃液貯槽排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	141	1次区画排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない

H2年 改造時	No.	施設名	旧クラス	新クラス	旧評価方針	新評価方針	新規制基 準設工認	添付 計算書	備考
その6	142	重水区画排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない
その6	143	1区画排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない
その6	144	原子炉建家排水系主配管	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	145	1次区画ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	146	重水区画ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	147	1区画ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	148	廃液貯槽室排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない
その6	149	廃樹脂貯留室排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない
その6	150	大型廃棄物保管庫排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない
その6	151	実験利用棟排水系主配管	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	152	廃液貯槽室ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	153	廃樹脂貯留室ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	154	大型廃棄物保管庫ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	155	使用済燃料貯槽室排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない
その6	156	使用済燃料貯槽室排水系主配管	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	157	使用済燃料貯槽室ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	158	燃料管理施設排水ピット	B	B	—	—	—	×	建家の一部であり、設置されている建家の健全性が確認されているため、耐震性に問題はない
その6	159	燃料管理施設排水系主配管	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	160	燃料管理施設ピット排水ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	161	廃樹脂貯留タンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	162	移送水タンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	163	廃樹脂貯留系主配管	B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	164	移送水ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	165	ビームチューブ接続管	A	B	静的解析	動的解析(スペクトルモーダル)	その13	○	最新の知見に基づき評価手法を変更し、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	166	前部水封用止板	As	S	静的解析	変更なし	その13	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その6	167	プラグ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	168	補助しゃへい体	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	169	ヘリウムタンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	170	照射筒(HR)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	171	減衰タンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	172	照射系イオン交換塔	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	173	通水タンク	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	174	転送系イオン交換塔	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	175	水力照射設備主配管	B	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	176	循環ポンプ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	177	水力照射設備主要弁	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管(原子炉プール外)に設置されている
その6	178	転送機(HR)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	179	照射筒(PN)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	180	照射系緩衝タンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	181	窒素ガスアキュムレータ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	182	空気貯留槽	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	183	転送系緩衝タンク	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない

H2年 改造時	No.	施設名	旧クラス	新クラス	旧評価方針	新評価方針	新規制基 準設工認	添付 計算書	備考
その6	184	気送照射設備主配管	B	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	185	気送照射設備主要弁	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管(原子炉プール外)に設置されている
その6	186	転送機(PN)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	187	循環ブロウ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	188	照射筒(PA)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	189	緩衝タンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	190	アキュムレータ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	191	放射化分析用照射設備主配管	B	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	192	放射化分析用照射設備主要弁	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管(原子炉プール外)に設置されている
その6	193	挿入機	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管(原子炉プール外)に設置されている
その6	194	取出機	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	195	装荷用キャスク(均一照射設備)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	196	駆動機構(均一照射設備)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	197	案内管(均一照射設備)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	198	回転駆動機構(回転照射設備)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	199	支持クランプ(DR)(回転照射設備)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	200	支持クランプ(垂直照射設備)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	201	キャスク架台(垂直照射設備)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	202	水素緩衝タンク	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	203	コンデンサ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	204	クライオスタット(減速材容器)	A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	205	クライオスタット(低温流路管)	A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	206	クライオスタット(低温流路管/水プラグ用単管)	A	B	動的解析(スペクトルモーダル)	変更なし	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	207	補助設備(ヘリウムダンプタンク)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	208	補助設備(窒素タンク)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	209	CNS本体設備主配管	B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	210	CNS本体設備主要弁	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管に設置されている
その6	211	ヘリウム圧縮装置(1次オイルセパレータ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	212	ヘリウム圧縮装置(アフタークーラ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	213	ヘリウム圧縮装置(オイルクーラ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	214	ヘリウム圧縮装置(オイルフィルタ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	215	ヘリウム圧縮装置(2次オイルセパレータ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	216	ヘリウム圧縮装置(3次オイルセパレータ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	217	ヘリウム圧縮装置(4次オイルセパレータ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	218	ヘリウム圧縮装置(5次オイルセパレータ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	219	ヘリウム圧縮装置(ダストフィルタ)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	220	ヘリウム圧縮装置(ヘリウム圧縮機)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	221	コールドボックス(コールドボックス容器)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	222	コールドボックス(予圧器)	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	223	ヘリウム貯槽	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	224	乾燥器	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	225	水ウォーマ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	226	再生ヒータ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	227	コントロールヒータ	B	B	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管に設置されている
その6	228	ヘリウム冷凍設備主配管	B、C	B、C	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	229	ヘリウム冷凍設備主要弁	B、C	B、C	—	—	—	×	定ピッチスパンの主配管に設置されている
その6	230	炉室詰替セル(鉛ガラス、蓋)	—	—	—	—	—	×	炉室詰替セルに設置されている鉛ガラス、蓋が対象
その6	231	実験利用棟詰替セル	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	232	コンプレッサー棟	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	その5	×	最新の知見に基づき再評価を実施した結果、改修が必要となった。
その6	233	炉室給気系空気調和機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	234	給気系主ダクト	B	B	静的解析	動的解析(スペクトルモーダル)	その13	○	新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施
その6	235	給気系主ダクト主要弁	B	B	—	—	その13	—	給気系主ダクトの評価モデルに含まれる
その6	236	実験室等給気系空気調和機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	237	ホット機械室等給気系空気調和機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	238	ビームホール給気系空気調和機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	239	燃料管理施設等給気系空気調和機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その6	240	事務管理棟管理区域給気系空気調和機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない

H2年改造時	No.	施設名	旧クラス	新クラス	旧評価方針	新評価方針	新規制基準設工認	添付計算書	備考
その7	241	燃料搬送装置	A	B	静的解析	変更なし	その13	○	固有値解析の結果、水平方向が20Hzを下回るため、新たに策定した地震動(1/2Sd)を用いて評価を実施(FRS読み取り値)
その7	242	使用済燃料取扱装置(使用済燃料キャスク)	As	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その7	243	使用済燃料取扱装置(使用済燃料シュータ)	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	244	未使用燃料貯蔵庫	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	245	未使用燃料貯蔵ラック	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	246	使用済燃料貯蔵ラック	As	S	静的解析	変更なし	その13	○	新たに策定した基準地震動を用いて評価を実施
その7	247	使用済燃料貯蔵ラック	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	248	冷却塔本体	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	その6	×	最新の知見に基づき再評価を実施した結果、改修が必要となった。
その7	249	主配管	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	250	冷却塔供給ポンプ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	251	排気筒躯体	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	その3	×	最新の知見に基づき再評価を実施した結果、改修が必要となった(上位波及影響を考慮した結果)。
その7	252	排気筒内筒	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	その3	×	最新の知見に基づき再評価を実施した結果、改修が必要となった(上位波及影響を考慮した結果)。
その7	253	使用済燃料貯槽室	B	B	静的解析	変更なし	その3	○	最新の知見に基づき再評価を実施した結果、改修が必要となった(上位波及影響を考慮した結果)。
その7	254	空気圧縮機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	255	アフタークーラ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	256	フィルタ	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	257	除湿機	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	258	空気槽	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	259	隔離弁用アキュムレータ	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その7	260	非常用排気設備アキュムレータ	A	B	静的解析	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その7	261	圧縮空気設備主配管	A、B	B	静的解析(定ピッチスパン)	変更なし	その13	×	耐震クラス変更の申請 静的解析(Ci変更なし)
その7	262	圧縮空気設備主要弁	A、B	B	—	—	—	—	圧縮空気設備主配管の評価モデルに含まれる
その9	263	使用済燃料移送装置	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その9	264	使用済燃料貯蔵No.1	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その9	265	使用済燃料取扱装置	B	B	静的解析	変更なし	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない
その9	266	使用済燃料貯槽水浄化系設備配管	C	C	Cクラスのため添付計算書不要	—	—	×	従前の評価から設計条件、評価手法、評価モデル等に変更はない

※H2年改造時のその1、その2は原子炉建家及び実験利用棟に関するもの。その8はアルミナイド燃料(旧燃料体、現在はシリサイド燃料を使用)に関するもの。